



地域連携の部屋

このコーナーでは、徳島大学病院が徳島県や他の医療機関の皆さまと協力し、患者さんへのよりよい医療の提供を目指してすすめている、様々な取り組みについて取り上げます。

Vo.34

地域連携病院③〇「御所診療所」

今回は、阿波市土成町にある御所診療所をご紹介します。

■仁愛のこころに基づいた医療

御所診療所は「仁・和・愛・誠・磨」という五つの漢字に込めた仁愛のこころに基づき、禁煙外来や糖尿病を含む生活習慣病の専門外来から、予防接種に至るまで、幅広い診療を行っています。なかでも、在宅医療と緩和ケアに尽力しています。在宅支援としては、患者さんのご自宅や介護施設への訪問診療を多く行っています。また、かかりつけとなっている患者さんが不安に感じることがあったときは、すぐに院長や看護師と連絡が取れるよう、24時間対応できる体制を整えています。緩和ケアの取り組みとしては、徳島大学病院が実施する研修にスタッフが参加するなど、最新の知識を取り入れる努力をしています。入院病床15床のうち、緩和ケアを必要とする方も少なくなく、患者さんやご家族の心に寄り添うことを第一に心がけています。

■災害へ向けた取り組み

御所診療所は災害時に強い医療機関を目指して、別館の開設と移動診療車の導入を行いました。災害が発生すれば、入院患者さんの避難が必要になりますが、より安全で効率的な移動を実現させるため、別館外側にスロープを設置しました。スロープがあることによって、避難時に速やかな移動ができ、転倒などのリスクも低くなりま

す。また移動診療車は、いち早く災害の最前線で医療活動を行うことを想定して、エコー・レントゲン・心電図等のポータブル機器を搭載しています。自動車という限られたスペースでの診療を行うために、内部の設計にこだわりました。この移動診療車は、災害時のみならず、普段の訪問診療でも活躍しており、地域住民や公共機関を支えるものとなっています。



↑ポータブル機器等を搭載した移動診療車

■御所診療所からのメッセージ

御所診療所で働くスタッフには、患者さんを常に自分の家族と思い、何を提供すればいいか考えて欲しいと伝えています。訪れる患者さんには、緊急診療などでお待たせするときがありますが、おらかな気持ちで受け入れてくれることに、こちらでも支えられています。小児から高齢の方まで、さまざまな患者さんにとって「とりあえず御所行ったら安心」と思っただけの診療所を目指して、これからもふるさと徳島の地域医療に貢献します。

「地域医療連携」について

徳島大学病院患者支援センターでは、大学病院と地域の医療機関との円滑な橋渡しをめざして、大学病院での高度先進医療から、患者さんがお住まいの地域の診療機関と連携し、在宅療養へと継続できるようサポートしています。

問い合わせは

御所診療所
阿波市土成町吉田宇原市の四31
Tel.088-622-9156

■説明は(左から)
加藤 修司(かとうしゅうじ)院長
加藤 美和(かとうみわ)理事

